

植物遺伝資源探索導入調査報告書

昭和 61 年度

昭和 62 年 11 月

農業生物資源研究所編

生 物 研 資 料62-(3)
昭和 62 年 11 月

とりまとめ 生物研 遺伝資源第一部
(連絡先) 植物探索導入研究チーム
TEL 02975-6-7458

植物探索収集プロフィール

1. 牧草・飼料作物 (モロッコ・ポルトガル・スペイン, 1986, 119頁)



イタリアンライグラス在来品種の収集
(ポルトガル北部, アベイロ地方)



エンバクの自生
(スペイン, ラ・コーニア空港付近)



オーチャード自生 (スペイン, サラゴザ, 路傍)



野生のオーチャードグラス, フェスク
(ポルトガル北部, 大西洋岸アベイロ
港岸壁付近)

2. 稲 (タイ東北部・北部, 1986, 162頁)



稲の調査 (東北タイ, ナコンパノム県)



陸稲の収集 (東北タイ, ルーイ県ルーイより西17km)

3. 雑穀類 (タンザニア, 1987, 192頁)



ソルガム野生種 (タンザニア, モロゴロ付近)



農家のソルガム畑 (タンザニア, イリンガとドドマの間)



出穂前のソルガム (タンザニア, ミクミとイリンガの間, 人物の両脇はトウモロコシ)

4. 根系植物 (ペール・エクアドル, 1986, 182頁)



オアシスでのカンショ在来品種調査 (ペルー, リマより北150km)



根系植物の探索収集 (ペルー, チクラ
ヨのオアシスにて)



自生する *Ipomoea trifida* (エクアドル, エスメルダス)

5. 国内収集（生物研・探索導入研）



農家保存のダイズ在来品種
(左よりクロマメ、ナットウマメ、ヒタシマメ、福島
県南部)



農家の自家採種（アズキ、クロマメ、サ
トイモ、福島県南部）



庭先での聞き取り調査と種子の分譲を受ける
(福島県南部)



一日の探索収集を終えた後の種子整理
(新潟県中越地方)



農家軒先で乾燥中のダイズ種子
(新潟県東部)

まえがき

近年、バイオテクノロジーの進展とともに植物の有用遺伝資源の持つ重要性はますます高まってきている。しかしながら一方では、農業生産様式の画一化が進み、各地域の環境に適応して残されてきた在来品種等の消失に示されるような多くの有用遺伝資源の枯渇が懸念されている。したがって、植物資源を広範囲に収集・保存することは、遺伝的侵食の危機回避と併せて、今後の作物育種の場でさらに積極的に遺伝資源の利用可能な範囲を拡大する上で緊急な課題となっている。

農業生物資源研究所では、昨年12月1日に発足した遺伝資源センター（通称）の設立以来1年を経過し、微生物および動物を含む遺伝資源に関する研究体制が充実したものとなってきている。また、生物遺伝資源の受入・配布の中心であるセンターバンク（生物遺伝資源管理施設）の建設工事もまもなく終了し、稼働を始める予定である。この新しいジーンバンクは、わが国の遺伝資源保存管理のネットワークの中核をなす施設であり、さらに遺伝資源に関する国際組織においてもわが国の代表となることが期待されている。

農林水産ジーンバンク事業の発展拡大のための一環として刊行されてきた「植物遺伝資源探索導入調査報告書」も本報告書で3冊目となる。今年度から国内植物遺伝資源の収集事業もいよいよ本格化したため報告書に載せ記録にとどめることにした。今年度は豆類、雑穀、牧草・飼料作物および野菜を収集対象とした8つの調査報告書が寄せられた。とくに、野菜とそばの探索収集では生育環境を異にする二地域でそれぞれ調査が実施され貴重な成果を上げることができた。

他方、国外への探索収集は、モロッコ・ポルトガル・イタリア（牧草・飼料作物）、タイ（水稻および野菜）、コロンビア（根系作物）、タンザニア（雑穀）へ調査隊が派遣され、国際農業研究機関および現地国機関との探索収集に関する共同研究が実施された。植物遺伝資源の収集事業の開始以来、多数の遺伝資源が国外から収集される一方で、協力相手国・機関の数も増加し、その範囲も世界に一層拡大しつつあることは今後の事業にとって大きな財産となってきている。

また、国内、国外の探索収集調査と併せて農林水産ジーンバンク事業に基づくアンケート調査の結果が導入収集記録として本報告書に収録されている。

ジーンバンク事業の一層の発展を図るためにも探索収集された遺伝資源の保存と同時に評価、記載を整えることが重要である。このためにも現地記録を収録した本報告書が、ジーンバンクのパスポートデータへの第一歩としてさらに充実したものとなる必要がある。

最後に、国内、国外で調査され原稿と収集リストを寄せられた方々および導入受入記録のアンケート調査に御協力いただいた関係研究室の方々に感謝するとともに、この報告書が多くの関係者に研究資料として有効に活用されることを希望している。

昭和62年11月

遺伝資源第一部長

石家達爾

植物遺伝資源探索導入報告書（昭和61年度）

目 次

	ページ
まえがき	i
遺伝資源第一部 石 家 達 爾	
I. 国内探索収集報告	
1. 茨城県北部および福島県南部における豆類および雑穀類の収集……………1	
生物研・遺伝資源一部・植物探索研	江 川 宜 伸
	長 峰 司
	中川原 捷 洋
2. タチバナ及びヤマモモの遺伝資源収集……………18	
果樹試・興津支場・育種2研	梶 浦 一 郎
	平 井 正 志
3. チモシー等寒地型イネ科牧草の遺伝資源の収集……………22	
草地試・育種部・育種1研	藤 本 文 弘
	樋 口 誠一郎
4. ヒエ類の生態型の収集……………30	
九農試・草地部・牧草1研	清 水 矩 宏
5. 南西諸島の在来野菜の収集 —— ウリ科ほか —— ……44	
野菜茶試・野菜育種部・育種2研	五十嵐 勇
6. 近畿地方の在来野菜の収集 —— アブラナ科ほか —— ……48	
野菜茶試・野菜育種部・育種4研	吉 川 宏 昭
	山 岸 博
	由 比 進
7. 寒地そば遺伝資源の収集……………60	
北農試・作物二部・特用作物研	犬 山 茂
8. 暖地そば遺伝資源の収集……………66	
九農試・作物二部・作物4研	沢 畑 秀
	高 畑 康 浩
	古明地 通 考

Ⅱ. 国内収集における現地記録表	(担当研究室) ……………	73
1. 豆類	1) 生物研・遺資一部・植探研……………	74
	2) 東北農試・栽培二部・作物4研……………	82
2. いも類	1) 北農試・作物一部・畑作2研……………	82
	2) 九農試・作物二部・作物1研……………	86
3. 雑穀・特用作物	1) 生物研・遺資一部・植探研……………	86
	2) 生物研・牧育場・照射法研……………	88
	3) 北農試・作物二部・特作研……………	94
	4) 九農試・作物二部・温暖作研……………	96
	5) 北農試・てん菜部・育種2研……………	100
4. 牧草・飼料作物類	1) 草地試・育種部・育種1研……………	100
	2) 北農試・草開発二部・牧草4研……………	104
	3) 東北農試・草地部・草地1研……………	104
	4) 九農試・草地部・牧草2研……………	106
5. 果樹類	1) 果樹試・興津・育種2研……………	108
	2) 果樹試・安芸津・育種研……………	110
	3) 果樹試・口之津・育種研……………	110
	4) 四国農試・土地利用部・果樹研……………	110
6. 野菜類	1) 生物研・遺資一部・植探研……………	112
	2) 野菜茶試・野菜育種部・育種2研……………	112
	3) 野菜茶試・野菜育種部・育種4研……………	112
	4) 野菜茶試・盛岡・育種2研……………	112
	5) 野菜茶試・久留米・育種1研……………	114
7. 茶	1) 野菜試・久留米・茶育種研……………	114
8. 桑	1) 蚕試・栽培部・桑育2研……………	116

Ⅲ. 国外遺伝資源の探索導入報告

1. 牧草・飼料作物遺伝資源の探索導入, モロッコ・ポルトガル・スペイン……………	119
---	-----

九州農試・草地部・牧草2研 佐藤 信之助

鹿児島農試・大隅支場 鶴見 義郎

2. 稲遺伝資源探索導入, タイ東北部および北部	162
北海道農試・作物一部・稲1研	浜村 邦夫
宮城県古川農試・育種部	佐々木 武彦
3. タイにおける野菜遺伝資源の探索・収集	176
全農連・営農開発部・営農対策室	芦澤 正和
4. 根系植物有用遺伝資源に関する海外調査報告	182
北海道根釧農試	奥山 善直
長崎県総合農試	田淵 尚一
5. 雑穀類遺伝資源の収集と導入, タンザニア	192
日本大学農獣医学部	広瀬 昌平
広島県農試	松浦 正宏

IV. 国外遺伝資源の導入受入記録表

(担当研究室)

1. 稲類	1) 生物研・遺資一部・植探研	206
	2) 東北農試・栽培一部・作物1研	228
	3) 北陸農試・作物部・作物1研	230
2. 麦類	1) 中国農試・作物部・作物2研	230
3. 豆類	1) 生物研・遺資一部・植探研	232
	2) 九農試・作物二部・作物3研	238
4. いも類	1) 北農試・作物一部・畑作2研	238
	2) 九農試・作物二部・作物1研	238
5. 雑穀・特用作物	1) 生物研・細育部・ヘテロ研	242
	2) 九農試・作物二部・温暖作研	242
6. 牧草・飼料作物類	1) 草地試・育種部・育種1研	244
	2) 草地試・育種部・育種素材研	246
	3) 北農試・草開発二部・牧草1研	248
	4) 北陸農試・作物部・作物4研	248
	5) 中国農試・作物部・作物3研	248
7. 果樹類	1) 果樹試・育種部・育種4研とりまとめ	250

8. 野菜類	1) 野菜茶試・野菜育種部・育種1研……………	270
	2) 野菜茶試・野菜育種部・育種2研……………	276
	3) 野菜茶試・野菜育種部・育種4研……………	278
	4) 野菜茶試・盛岡・育種1研……………	304
	5) 野菜茶試・盛岡・育種2研……………	308
	6) 北農試・作物二部・園作2研……………	308
9. 花き・緑化植物	1) 野菜茶試・久留米・花き研……………	312
V. 国外遺伝資源探索収集チームの派遣実績……………		316

I. 国内探索収集報告
(昭和61年度)

Ⅲ. 国外遺伝資源の探索導入報告
(昭和 61 年度)

植物遺伝資源探索導入調査報告書 昭和61年度

昭和62年11月20日 印刷

昭和62年11月30日 発行

茨城県つくば市観音台2-1-2

編集兼
発行者 農林水産省農業生物資源研究所

印刷所 茨城県下館市中館186

朝日印刷株式会社

